年間授業計画【新様式】

高等学校令和６年度（１学年用）教科　　人間と社会　　科目　人間と社会

教　科：　人間と社会　　科　目：　人間と社会　　単位数：　1　単位

対象学年組：第　１学年

教科担当者：大久保　美由紀　　平山　剛大

使用教科書：（「人間としての在り方生き方に関する教科『人間と社会』」（東京都教育委員会・準教科書）　）

教科　人間と社会　　の目標：

教科「人間と社会」における見方・考え方を働かせ、価値の理解を深め、選択・行動に関する資質・能力を育成する学習、体験活動による学習などを通して、道徳性を養い、形成した判断基準（価値観）を高めることで、社会的現実に照らし、よりよい生き方を主体的に選択し行動する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

【知識及び技能】　予測できない社会の変化や新しい課題に対応するため、主体的に自己や社会の課題を発見し、解決に向けて必要な知識及び技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】　社会的現実に照らし、よりよい生き方を選択することができるよう、自己と社会との関わりから課題を見いだし、情報を集め、整理・分析して、多面的・多角的に考察する力や、考察したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】　演習や体験活動に主体的・協働的に取り組むことによって、人間としての在り方生き方に対する自覚を深め、自己の生き方を充実させようとする態度と、互いのよさを生かしながら、社会の一員であることを自覚し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。

科目　人間と社会　　の目標：

教科「人間と社会」における見方・考え方を働かせ、価値の理解を深め、選択・行動に関する資質・能力を育成する学習、体験活動による学習などを通して、道徳性を養い、形成した判断基準（価値観）を高めることで、社会的現実に照らし、よりよい生き方を主体的に選択し行動する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
様々な価値や考え方があるという多様性の理解や他者と協働することの意義を理解し、実践することができる。	一面的な考察から多面的な考察へ自己の内面を変化させ、得た知識や考え方を他者に伝えることができる。	他人事ととして捉えていたことに当事者意識をもち、問いや課題を見つけ学習に主体的に取り組もうとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	第6章　ｽﾏｰﾄﾌｫﾝ時代のｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ ｽﾏｰﾄﾌｫﾝを利用した高度な情報化社会に生きていることを自覚し、遵法精神、公徳心に関する道徳的価値を深め、自己を理解し、自己を管理する能力を育成する。	・新しいﾒﾃﾞｨｱ時代の生き方について学ぶ ・ｽﾏｰﾄﾌｫﾝ時代を生きることについて議論する	【知識・技能】 課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 自分で立てた課題について、情報を集め、整理分析して、まとめ・表現ができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 互いのよさを生かしながら主体的・協働的に取り組むことができる。	○	○	○	7
	第7章　選択し、行動する 変化の激しい社会のなかで、失敗を失敗と捉えず、よりよい選択と行動をするためには、どうすればいいかについて理解を深め、考えさせる。	・「選択し、行動する」ことについて考える ・決定と行動について考え、議論する	【知識・技能】 自身の課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 自身の決定と行動について、よりよい選択をし、行動するためにどのようなことが必要かを考え、表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 自身の考えをまとめ、決定や行動について主体的・協働的に取り組むことができる。	○	○	○	7
2学期	第16章　文化の多様性 世界には様々な文化が存在することについて理解し、相互理解に関する道徳的価値を深め、文化の多様性を尊重する態度を育成する。	・異文化理解、多様性への理解を深める ・異文化や多様性の意義について学ぶ	【知識・技能】 世界にある様々な文化やその文化的背景について理解している。 【思考・判断・表現】 自身の属する文化圏と他国の文化圏を比較し、まとめ・表現ができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 自身の多様性に関する考えをまとめ、主体的・協働的に取り組むことができる。	○	○	○	7
	第17章　ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙ化が進展する社会 ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙ化が進展する社会の中で、世界について身近に捉え、グローバル化の進展への心構えについて道徳的価値を深め、社会を形成する能力、主体性を育成する。	・ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙ化への理解を深める ・ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙ化する社会の中で、自身の課題について考え、理解を深める	【知識・技能】 ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙ化について、身近な例を挙げ、具体的に理解し、説明できる。 【思考・判断・表現】 ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙ化が進展する社会の中で、自身が今できることや自身が今後すべきことについて考え、表現ができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 自身のとりまくｸﾞﾛｰﾊﾞﾙ社会について、主体的・協働的に取り組むことができる。	○	○	○	7
3学期	第19章主権者・成年としての権利と責任 主権者・成年としての心構え・自覚を養い、社会参画、公共の精神に関する道徳的価値を深め、社会を形成する能力、主体性を育成する。	・主権者成年になることについて学ぶ ・主権者成年としての自覚を養うことについて議論する	【知識・技能】 主権者・成年になることで、必要な心構えについて理解し、主権者に必要となる技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 自身の課題について、情報を集め、整理分析して、まとめ・表現ができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 主権者・成年になる上で必要となる資質について主体的・協働的に考えることができる。	○	○	○	7 合計 35